

2022年5月6日

## AGC、タイでクロール・アルカリ事業の能力増強を決定

AGC（AGC株式会社、本社：東京、社長：平井良典）は、インドシナ半島におけるクロール・アルカリ事業統合新社であるAGC Vinythai Public Company Limited（[2022年7月設立予定](#)）のタイ2拠点\*における生産能力増強を決定しました。稼働開始は2025年第1四半期を予定しています。また投資総額は1,000億円以上を見込んでおり、当社グループとして過去最大の金額規模となります。

本増強により、当社グループの東南アジア地域におけるクロール・アルカリ製品の年間生産能力は、苛性ソーダ164万トン（現在142万トン）、塩化ビニルモノマー（VCM）170万トン（現在130万トン）、塩化ビニル樹脂（PVC）160万トン（現在120万トン）に拡大します。



当社クロール・アルカリ製品の製造プラント（ビニタイ社）

苛性ソーダおよび塩化ビニル樹脂（PVC）は、上下水道などの都市インフラ整備や多様な工業製品に欠かせない素材であり、両製品の東南アジアにおける市場は、経済成長に伴う製造業やインフラ事業等の継続的な拡大を背景に、年4%程度の成長が見込まれています。この旺盛な需要に対応するため、当社は本増強の検討を進め、タイ環境当局による環境影響評価の承認を取得し、今般投資を決定しました。また、本設備増強においては、環境負荷低減のため、エネルギー効率や生産効率を向上させた最新の環境対応技術を導入します。

AGCグループは、中期経営計画 **AGC plus-2023** の注力事業のひとつとして、東南アジアにおける化学品クロール・アルカリ事業拡大を目指しています。域内で伸長する需要の着実な取り込みと競争力強化を目的とし、これまでインドネシアにおける既存拠点の生産能力増強や、AGC ケミカルズ・ベトナム社およびビニタイ社の買収を実施し、東南アジアにおけるクロール・アルカリ事業のトップポジションを確固たるものにしてまいりました。また、2022年7月にインドシナ半島のクロール・アルカリ事業3社を統合再編する新社設立を予定し、同地域での基盤強化と更なる成長を目指しています。今後もサステナビリティ活動の一環として環境負荷低減に全力で取り組み、同地域における安全、安心、健康な暮らしの実現と、東南アジア社会の持続的発展へ貢献していきます。

---

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 小川 知香子

（担当：中尾 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com)）

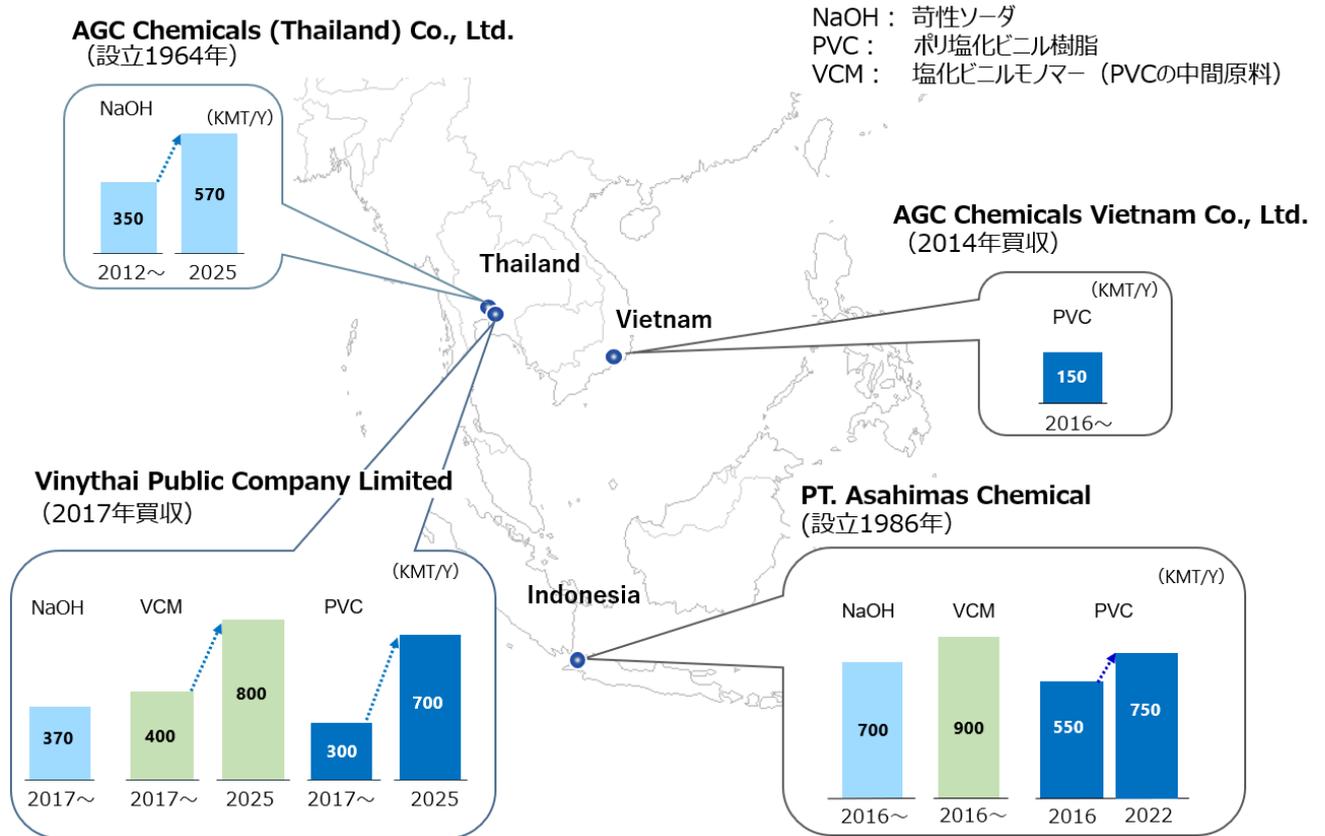
個人情報 は当社プライバシーポリシーに従ってお取扱いをさせていただきます。

<注釈>

\* タイの2拠点：現Vinythai Public Company Limitedおよび現AGC Chemicals (Thailand) Co., Ltd.

### 参考

- AGCグループの東南アジア地域におけるクロール・アルカリ事業の年間生産能力



◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC株式会社 広報・IR部長 小川 知香子

(担当：中尾 TEL: 03-3218-5603 E-mail: [info-pr@agc.com](mailto:info-pr@agc.com))

個人情報 は 当社 プライバシー ポリシー に 従って お取扱い を させていただきます。